県道 708 号(秦野大井)道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果

秦野市渋沢奈良郷遺跡

（秦野市No.91 遺跡）

古代の畑と縄文前期の集石

渋沢奈良郷遺跡の発掘調査

秦野市渋沢に所在する渋沢奈良郷遺跡は、松田土木事務所による県道 708 号道路整備事業に伴う埋蔵文化財の記録保存として、発掘調査を実施しています。

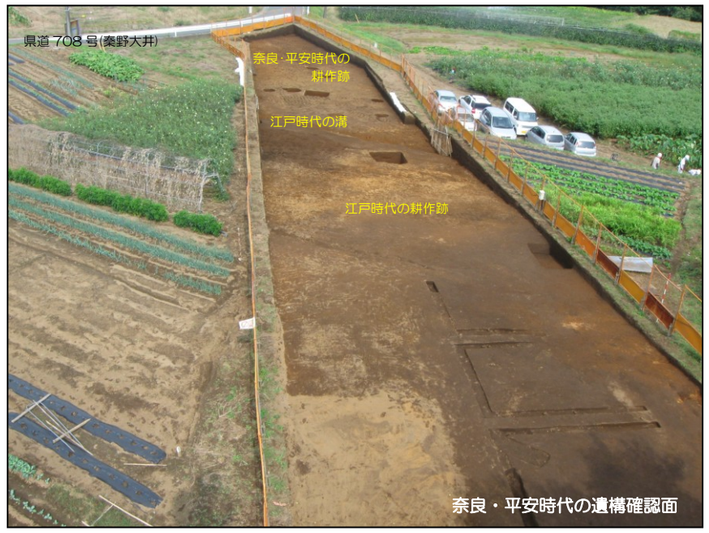
調査区は、秦野市渋沢と足柄上郡大井町篠窪の境界部分に位置し、標高 240mの丘陵尾根部にあたります。

調査の結果、江戸時代の溝と耕作跡、奈良･平安時代の円形土坑と耕作跡、縄文時代晩期～弥生時代初頭の炉跡、縄文時代の集石・土坑(落とし穴)・ピットと早期・前期・中期の土器や石器などが発見されています。

なかでも奈良･平安時代の耕作跡などの遺構は、この場所での畑作を示し、当時の具体的な土地利用の様子を捉えることができます。縄文時代晩期～弥生時代初頭の炉跡は、神奈川県内でも類例が極めて少なく、貴重な発見例となります。

今回発見された遺構や遺物などは、今後の出土品整理や分析などを経て発掘調査報告書として刊行し、正式に公開されます。

これら先人達の足跡を、郷土の歴史を探る資料として、活用していただければ幸いです。



奈良・平安時代の遺構確認面

奈良・平安時代の円形土坑

奈良・平安時代の円形土坑と耕作跡

奈良・平安時代の耕作跡
鍬跡状の窪みが広がっています。

奈良・平安時代の円形土坑と耕作跡

近世１号溝
現在の畑地段切り部分の下で発見されました。幅 1.5m で、底面近くには宝永火山灰が堆積していました。

近世２号溝
掘り込みは浅い溝ですが、宝永火山灰が堆積していました。

炉跡　縄文晩期～弥生時代初頭の焼土と炭化物が集中して出土しています。

【調査概要】

遺跡名　渋沢奈良郷遺跡(第２次)

所在地　秦野市渋沢

調査期間 2010 年９月 16 日～12 月 15 日(予定)

【発見遺構】 ２０１０年 11 月 15 日現在

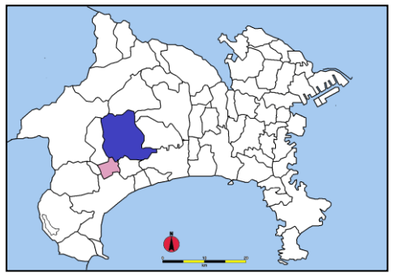
〔江戸時代〕　溝２条・耕作跡

〔奈良･平安時代〕円形土坑 15 基・耕作跡

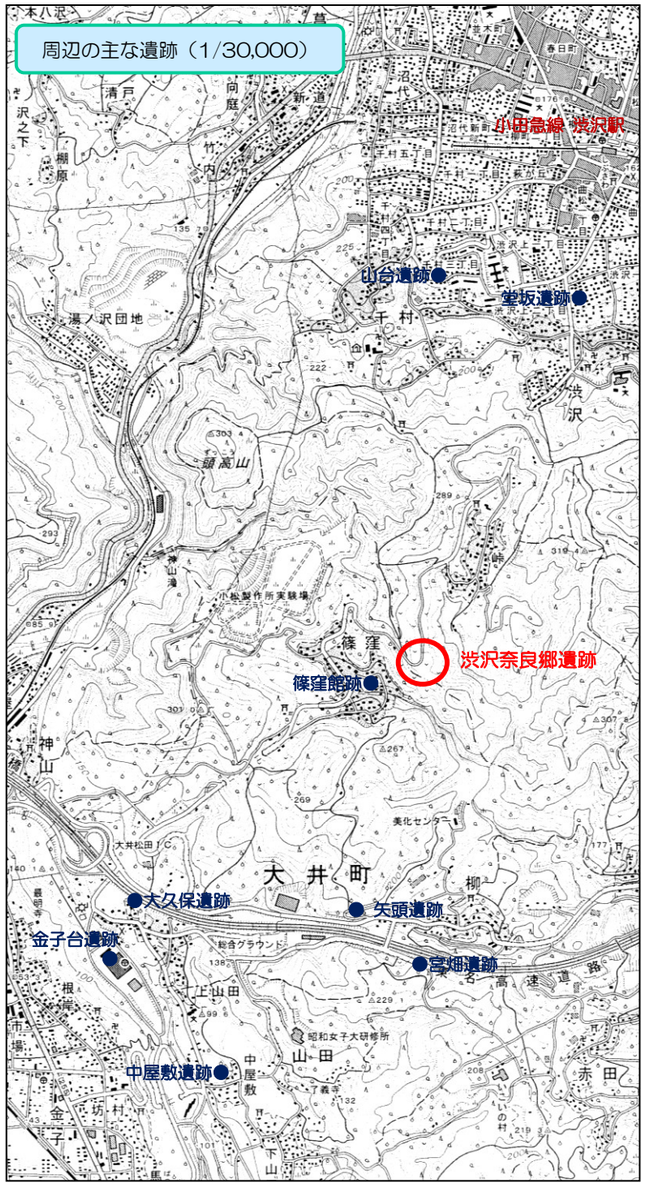
〔縄文時代晩期～弥生初頭〕炉跡１基

〔縄文時代〕集石１基･土坑２基･ピット 12 基

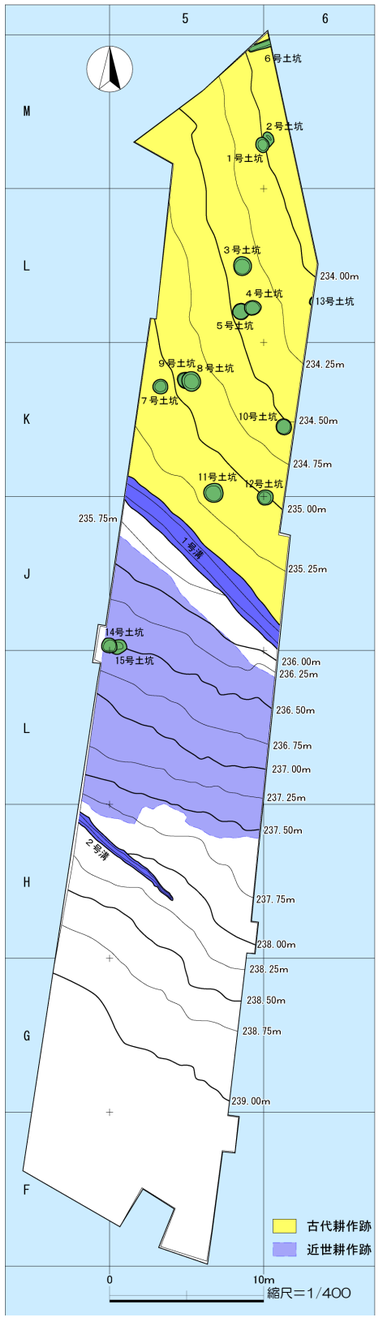
※矢印は、今回の調査で発見された遺構や遺物のおおよその時期を示しています。
※調査の内容は発掘時点であり、出土品整理などにおいて、評価を変える場合があります。



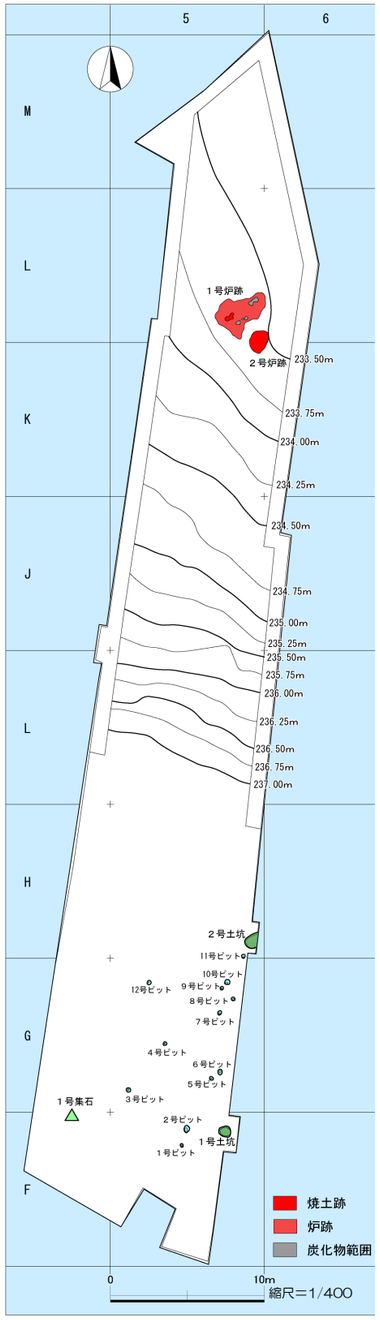
青色：秦野市
桃色：足柄上郡大井町
遺跡は秦野市と大井町の境界部に位置しています。



県道 708 号(秦野大井)道路整備事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査の成果
渋沢奈良郷遺跡(秦野市No.91 遺跡)見学会資料
2010 年 11 月 27 日
財団法人 かながわ考古学財団
〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1
TEL 045-252-8689　http://www.kaf.or.jp/



奈良･平安時代、江戸時代　全体図



縄文時代、弥生時代初頭　全体図

調査区近景
県道 708 号は足柄平野と秦野盆地を結んでいます。調査地点は丘陵を越える尾根部にあたり、各時代の足跡が発見され、昔から交通の要衝であったことがわかります。

調査状況
調査区内では北に向かって傾斜し、丘陵尾根部に縄文時代の遺物が集中しています。

縄文時代　集石
拳大の焼け礫が集められたものです。火熱を使った調理施設などと考えられます。

縄文時代　ピット

縄文時代　集石　調査状況

縄文時代　土坑検出状況(落し穴)
ローム面まで掘り下げると遺構が黒く浮かび上がります。

縄文時代 落し穴
底面の中央部には杭などを逆さまに立てた穴があります。

縄文時代　早期土器

縄文時代　前期土器

縄文時代　石鏃

縄文時代　磨石

宝永火山灰
宝永４年(1707 年)の宝永スコリアは、降灰後の耕作により攪拌されています。

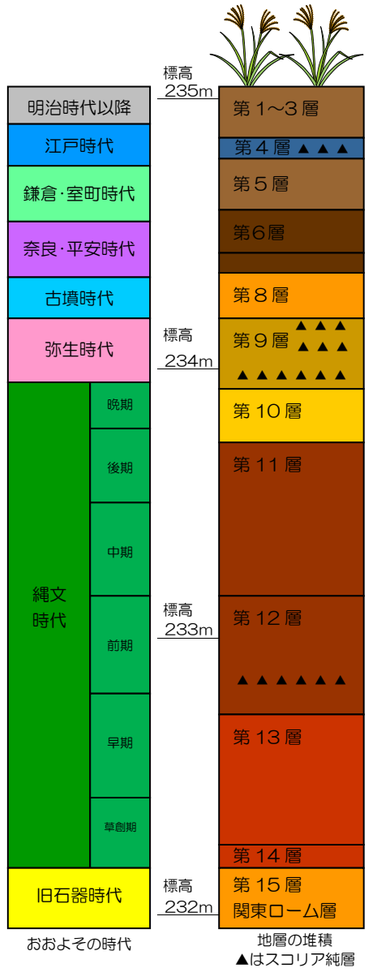
土層堆積状況
県西部の地層堆積は厚く、地表面から縄文時代晩期頃まで 2m 近くあります。

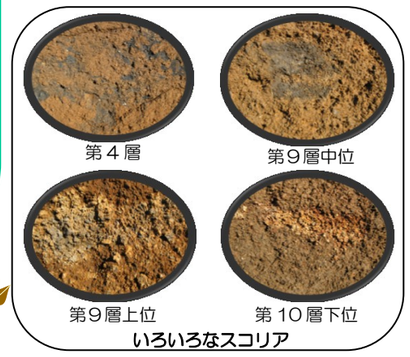
【地層の堆積】

神奈川県の西部は富士・箱根・伊豆山に由来する火山砕屑物(さいせつぶつ)(スコリア)が厚く堆積しています。調査区は丘陵の北斜面部にあたり、斜面下部では縄文時代から江戸時代(1707 年)までのスコリアが認められます。

特に奈良･平安時代の遺構確認面直下から、縄文時代遺物包含層(富士黒土層)上面までの、黄褐色土(いわゆる疑似ローム層)は、約 1mの堆積が認められ本遺跡の特徴的な土層となっています。そしてこの土層中からは縄文晩期の炉跡が発見されています。

これらの堆積した各種スコリアを比較・分析することによって、地層の年代、遺構や遺物の時代を把握する手がかりを得ることができます。





いろいろなスコリア

記録作業

調査区や遺構は土層観察帯を設定し、地層の堆積状況を記録します。

測量作業

遺構の平面･断面や遺物出土地点の測量を行いながら調査を進めます。